

ivalueは、皆さまのビジネスと共に挑戦し、アップデートし続けるサービスです。カイゼンを繰り返し、常にベストな製品性・サービス性の実現を目指します。
ここでは、お客さまから寄せられたご要望・ご意見をもとにivalueに関するタイムリーな情報をお届けします。

皆さまからのご要望を多数いただきましたフリーページ機能が
いよいよリリースになりました！

フリーページとは？

これまでご利用いただいていた、固定ページ(コンセプトやサービス、カタログなど、16種類のコンテンツページ)の下に持つことができる「第3階層目」のこと！



ついに！
フリーページ
リリース！

こんな方におすすめ！

- 複数の事業を展開しているため、1つ1つの事業を丁寧に紹介したい。
- 取扱商品数が多いので、カテゴリ別に掲載したい。
- 拠点別の取り組みや特徴についてページを我慢せずに豊かにPRしたい。などなど

業種業態、事業規模によってご利用方法のご提案も可能です。お気軽にご相談くださいませ。
▲フリーページは、スタンダードプランからご利用いただけるサービスです。



ivalue開発チームが公式noteを開設しました。
関わる「ヒト・モノ・コト」にフォーカスした記事を更新しています。開発の裏側を包み隠さず発信することで、より愛されるプロダクトを目指します。
ぜひフォロー&スキをお願いします！
https://note.com/ivalue_jp

現在企画中

ivalueを最大限にご活用いただくために！
アイバリュー・ウェブセミナー

スタートしたばかりの方、もっと活用したい方、専門的な知識で応用したい方など。お客さまのフェーズに合わせたウェブセミナーを企画中です。ivalueをご利用の全てのお客さまが対象になります。公式の場で詳細をお伝えできるまで少々お待ちください…！こんなことが知りたい！こんなことが不安…など皆さまのご意見・ご要望も随時募集しております。

編集後記

「編集部より今月号の感想」

色調豊かな緑から、みなぎる生命力を感じる頃となりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか？今回5回目の発行となった「ivalue value Vol.5」。今号は、京都府宮津市の町おこし活動を中心に様々な事業を展開している「カミヤツラボ」さんを特集させていただきました。5月は、田植えの時期。お米作りも行っているカミヤツラボさんが活動拠点にする宮津市は、美味しいお米ができる条件がたくさん詰まっているそう。完成したホームページを見ながら「良い自然が良い水を作り、良い水が良いお米を作り、良いお米が心と身体の健康を作り、豊かな人々が町を作る。」なんて、素敵なサイクルが想像できてしまいました。太陽のように明るく、温かい笑顔が魅力的なカミヤツラボの寺田さん、掲載にご協力いただきありがとうございました。今後もより皆さまに役立つ情報を発信できるよう精進してまいりますので、「ivalue value」をどうぞよろしく願いいたします。次号もお楽しみに。

出張 へるデザイン舎

文字は口ほどにものを言う /

「ゴシック」
の特徴を知ろう！

ゴシック体編

ゴシック体とは…

- 線の太さが均一
 - インパクトがある
 - 目に入りやすい
- という特徴があります。

ゴシック体を与える印象

- 太字なら インパクト・力強さ
- 細字なら モダン・洗練さ
- 丸字なら 親近感・子供っぽさ

ゴシック体は
キャッチコピーなどで
使用すると効果的です！
フォントの特徴を意識して
用途に合うものを選びましょう！

kaeru-designsya.com

かえるデザイン舎 検索

「ほっと一息、コーヒータイムにどうぞ。」

ivalueに+αの価値をお届けする定期マガジン

ivalue value



特集お客さまインタビュー

ivalueをご導入してくださっている
お客さまの声を紹介します。

京都府宮津市

カミヤツラボさん

ご契約者さまへ /

皆さまの声をどんどんお聞かせください！
ivalue開発チーム 佐久間広樹より

日々がんばる皆さんのための
おつかれメシ
みずみずしい、春にんじんの
ポタージュをご紹介します。

はい、こちらivalue開発室です

固定ページに第3階層目を持つことができる『フリーページ機能』が新たに追加されました！

アンケートにご協力ください。

ivalue valueを読んでいただきありがとうございます。
今後のサービス性向上のために皆さまからのご意見を募集しています。



特集お客さまインタビュー | ivalueをご導入して下さっているお客さまの声をご紹介します。皆さまのより充実したご活用ヒントにさせていただきますと幸いです。

カミヤツラボ 京都府 宮津市

楽しい事をしながら豊かに。地方と都市の架け橋になりたい。

日本三景の一つ、天橋立がある宮津市で、地域活性化を軸に幅広く事業を手がける「カミヤツラボ」さん。昨年には、宮津市の大地が育てるお米の美味しさを広めるため、直営カフェ「おにぎりとおやつmusubi」をオープンしました。代表の寺田さんは、宮津市出身ではないものの、地域の風土や人の良さに魅了され定住を決意されたそう。地域の方々や宮津市の「上宮津(かみみやづ)」の地名を「かみみやづ」と呼ぶことから、地名を社名に採用し、地域の方々へ、そしてこの地域を離れて暮らす方々へ、宮津市の魅力を広く発信しています。「楽しいことをしながら豊かに」をモットーに自身の経験や地域との関わり合いを題材にした講演なども行い、精力的な活動で地域社会に貢献するカミヤツラボさんにivalueを使ってみての率直な感想をお伺いしました。

一 ivalueを選んだ理由について教えてください。

カミヤツラボ寺田さん(以下寺田さん): 事業を始めてから、SNSだけでなくホームページを作ると思い、自分でも本を買って勉強しながら制作してみたり、他社でも見積もりを取って見たのですが、ベストな方法が分からなくて。そんなとき、高校時代の先輩からivalueを紹介してもらいました。色々説明を聞きましたが、中でも「プロが無料で制作してくれる」というサービス性に魅力を感じ、ivalueの導入を決めました。類似サービスでも制作代行は、有料のところが多いです。規格製品だからこそできる、利用者に親切的なサービス設計がとても良いと思います。また、私も移住し、活動を始めたばかりだったので、正式リリースしたばかりのスタートアップのサービスという点にも親近感が湧きました。製品開発に携わる方たちは、みなさん若くエネルギーで、ivalueならセンスが良いものを作れると思いました。



一 打ち合わせはどうでしたか？

寺田さん: ivalueの開発拠点と私たちの活動拠点が離れていたのですが、少々不安もあったのですが、対面の打ち合わせではなくても本格的なホームページが作れるんだと新たな発見でした。制作途中は、追加したい画像の掲載方法をアドバイスいただいたり、親身に提案してくれたことがとても嬉しかったです。ホームページ公開後も、運用レクチャーをしてくれて助かりました。もうひとつ事業を起したら、そちらも是非ivalueでお願いしたいです。あえてわがままを言うなら、実際に訪問して現地の空気を感じてもらい、それをホームページに反映して欲しい。そういったスペシャルなプランも設けてもいいのでは?と思います。そんな要望も気軽に言えて、製品アップデートに参画できる感じも



メーカーならではの、特別感がありますね。

一 使いやすさはいかがですか？

寺田さん: HTMLやCSSを知らなくても感覚的に操作できる点がいいです。テキストや画像の組み合わせが違うブロックが約300種類もあるので、選べる楽しさがありますし、オリジナルのレイアウトが簡単に構築できてしまいます。最近のホームページは写真の上にテキストが載っててものをよく見かけるので、そういった個性の出る表現が自分でも簡単にできると嬉しいです。今後のアップデートに期待しています。

一 ivalueを使ったことでどんな効果がありましたか？

寺田さん: 地方(丹後地域の方々)は、ホームページを持つことよりも、まだFacebookが主流になっているんです。ホームページ=法人企業みたいなイメージがあるので、ホームページを持つことで、地域おこしという活動への信憑性に繋がります。SNSは便利ですが、気軽に誰でも始められて、型が決まっている分、オフィシャル感を出すことは難しいです。やっぱり独自のプラットフォームを持つことで、会社としての存在意義をきちんと提示できてると思います。

一 最後にカミヤツラボさんが目指す夢をお聞かせください。

寺田さん: 地域おこし協力隊として移住してきたので、田舎での豊かな生き方について発信していきたいです。宮津の学生は、進学や就職で宮津を出ていく人が多いですが、また帰ってきたいと思えるような仕組みをつくっていききたい。カミヤツラボが都会と田舎(宮津)の架け橋のような存在になりたいと思っています。そして、日本三景繋がりでivalueのユーザーさんがひとりでも宮津の土地を訪れてくれたら嬉しいです。

カミヤツラボ

京都府宮津市の地域おこし協力隊として、直営カフェ「おにぎりとおやつ musubi」や、宮津の大地が育てたお米とホンモロコのネット販売などを行っている。

〒626-0035 京都府宮津市喜多1152
TEL: 090-8411-5766
カフェの営業時間: 11:30-16:00/ 18:00-20:00
定休日: 月曜日・火曜日

kamiyazulab.com



ご契約者さまへ

皆さん、こんにちは。

ivalue 開発チームの佐久間 広樹です。

僕は自社製品であるivalueを皆さまにお届けする上で、商談を行う機会が多くあり、毎日ワクワク楽しみながら、お仕事をさせていただいております。皆さまの事業に対する想いの込められた素晴らしいホームページを制作させていただいているおかげで、ご紹介をきっかけとした繋がりが生まれ、多くの事業者さまにivalueをお届けできていることを実感しております。改めまして、いつもご愛顧いただき、誠にありがとうございます! ivalueは常にお客さまに新しい価値を提供し続ける製品サービスです。「こんな機能あったらいいな」「こんなホームページだったらもっと魅力的なんだけどな」など、皆さまの声をどんどんお聞かせください。チーム一丸となってアップデートを繰り返し、皆さまの理想とするホームページ構築サービスとなるよう製品性・サービス性を磨き続けてまいります。引き続きivalueをどうぞよろしくお願いたします!

日々がんばる皆さんのための

おつかれメシ

材料(2人分)

春にんじん	1本	塩	少々
たまねぎ	1/2個	こしょう	少々
バター	10g	スープ(※)	カップ1
サラダ油	大さじ1	※ 顆粒スープの素(洋風)	小さじ1を湯カップ1
水	カップ1		で溶いたもの。



春にんじんを使ったポタージュのご紹介。
冬の厳しい寒さに耐えて育った春にんじんは、通常のにんじんよりも甘くて軟らかく、みずみずしい特徴があります。通常のにんじんよりも水分を多く含んでいるため、あまり日持ちしませんが購入後はなるべく早く食べましょう!

作り方(調理時間: 30分 費用目安: 300円前後)

- 1 にんじんは厚さ2cmの輪切りに、たまねぎは繊維を断ち切るように薄切りにする。
- 2 鍋にバターとサラダ油を中火で熱し、たまねぎを炒める。しんなりしたら、にんじんを加えて全体に油が回るまで炒める。
- 3 水を加えて煮立たせ、ふたをして弱火にし、約30分間蒸し煮にする。
- 4 にんじんが十分に柔らかくなったら火を止め、容器に移してハンドブレンダーなどでなめらかになるまでかくはんする。
- 5 4を鍋に戻してスープを加え、弱火にかけて温め、塩・こしょうで味を調べて完成です。お好みで生クリームを回しかける。

ivalue 開発チームに娘をもつ母が書く エッセイチックなお手紙

「貴方のガーベラ、今日もきれいに咲いているよ。」
時に仕事に疲れ、しかめっ面になっている娘の様子も手にとるようにわかるのだけれど(笑)。ただ、心の片隅に隠れもつ、華やかさや穏やかさを忘れないでほしい。きつと私を想うはず。
「貴方のガーベラ、今日もきれいに咲いているよ。」
奇跡など、そんな大層なことはいらない、これは私にとってはささやかではあるけれど、小さな奇跡。奇跡はそばにある。その小さな奇跡を見逃さないでほしい。ガーベラが教えてくれた事、娘にも届け。私はその写真を真っ先に送った。
花ってものには不思議なもので、心を穏やかにしてくれる。実のところ私にとって娘の存在もそう。一緒に暮らしている時は衝突する事も多々あり:「こんちくしょうの毎日だった。でも、離れて気づいたのは、娘がいてくれるだけで、家がパツパツに華やかになること。そして穏やかな気持ちになるのだ。そんな事を思いながら今日も元気だね」と花に話しかけ、ちょっと変なおばさんにならなから、どれだけの日が過ぎただろう。なんと、思いもよらず蕾ができて、今やきれいに部屋を彩ってくれている。
奇跡など、そんな大層なことはいらない、これは私にとってはささやかではあるけれど、小さな奇跡。奇跡はそばにある。その小さな奇跡を見逃さないでほしい。ガーベラが教えてくれた事、娘にも届け。私はその写真を真っ先に送った。
花ってものには不思議なもので、心を穏やかにしてくれる。実のところ私にとって娘の存在もそう。一緒に暮らしている時は衝突する事も多々あり:「こんちくしょうの毎日だった。でも、離れて気づいたのは、娘がいてくれるだけで、家がパツパツに華やかになること。そして穏やかな気持ちになるのだ。そんな事を思いながら今日も元気だね」と花に話しかけ、ちょっと変なおばさんにならなから、どれだけの日が過ぎただろう。なんと、思いもよらず蕾ができて、今やきれいに部屋を彩ってくれている。

インターネットでの集客

現代 マーケティング講座

LINEグループのコツは「送りすぎない」こと

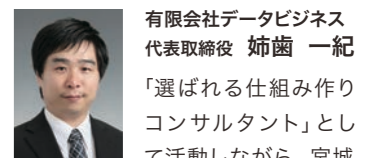
LINEを使った集客、というのがあります。いわゆるLINEグループです。発表当初は一部の会社だけが使っていましたが、最近は普通のお店でも使っているところが増えてきましたね。

ところがこのLINEグループ、登録解除される事が多くて困っている、という話を時々聞きます。実際、LINEグループはメールマガジンよりも解約率が高い傾向があります。

特に、メールマガジンの配信した経験がある人は注意が必要です。というのも、メールマガジンは毎日送る方が反応率が高くなりますが、それと同じように一生懸命毎日LINEグループに投稿すると解約率が上がるからです。

LINEは多くの人が携帯電話で利用しており、友人とのコミュニケーションに使っています。このため、メールに比べて親密度が高いんですね。そこにお店から次々と案内が届いたら、解約したくなるのが人情です。メールの案内はアーケードでチラシを配られるようなものですが、LINEの案内は友達とくつろいでいる部屋にチラシ配りに入ってこられるようなものなのです。

メールやLINEのようにお客さんに情報を届ける方法を「メディア」と言いますが、メディアはそれぞれに特性があり、それに合わせた情報配信をしないとお客さんの反感を買ってしまう事になります。あなたもメディアを使うときは気をつけてください。



有限会社データビジネス 代表取締役 姉齒 一紀

「選ばれる仕組み作りコンサルタント」として活動しながら、宮城大学の事業プランニング学類で非常勤講師を勤める。「宮城の集客」主宰、事業構想修士。

https://databiz.jp